

# EDFC ACTIVE 伸縮別調整ショックアブソーバに使用する場合

伸縮別調整式ショックアブソーバを制御するには次の表と接続図をご覧ください、お好みの方法を選択して設置して下さい。基本のセットアップ方法については、「CUSTOMセットアップ」説明をご参照下さい。(取扱説明書 P. 15~)

番号	フロント	リア	ドライバ1	ドライバ2	ドライバ3	ドライバ4
1	伸縮同時調整	伸縮同時調整	フロント	リア	—	—
2	伸縮同時調整	調整なし	フロント	—	—	—
3	調整なし	伸縮同時調整	リア	—	—	—
4	伸縮別調整 (※1)	伸縮別調整 (※1)	フロント1	フロント2	リア1	リア2
5	伸縮別調整 (※1)	伸縮別調整 (※2)	フロント1	フロント2	リア伸	リア縮
6	伸縮別調整 (※2)	伸縮別調整 (※1)	フロント伸	フロント縮	リア1	リア2
7	伸縮別調整 (※2)	伸縮別調整 (※2)	フロント伸	フロント縮	リア伸	リア縮
8	伸縮別調整 (※1)	伸縮同時調整	フロント1	フロント2	リア	—
9	伸縮別調整 (※2)	伸縮同時調整	フロント伸	フロント縮	リア	—
10	伸縮別調整 (※1)	調整なし	フロント1	フロント2	—	—
11	伸縮別調整 (※2)	調整なし	フロント伸	フロント縮	—	—
12	伸縮同時調整	伸縮別調整 (※1)	フロント	リア1	リア2	—
13	伸縮同時調整	伸縮別調整 (※2)	フロント	リア伸	リア縮	—
14	調整なし	伸縮別調整 (※1)	リア1	リア2	—	—
15	調整なし	伸縮別調整 (※2)	リア伸	リア縮	—	—
16	調整なし	調整なし	—	—	—	—

- ※ 1 : 伸縮別調整のショックアブソーバ1本(片側)に対して、1つのドライバユニットで制御する場合  
この場合は、各ドライバユニットのCh1を伸、Ch2を縮とします。(正立式は図1、倒立式は図2を参照)
- ※ 2 : 伸縮別調整のショックアブソーバ2本(左右)に対して、伸を1つのドライバユニット、縮をもう一つのドライバユニットで制御する場合 (正立式は図3、倒立式は図4を参照)

図1 ※1概念図 (正立式ショックアブソーバ)

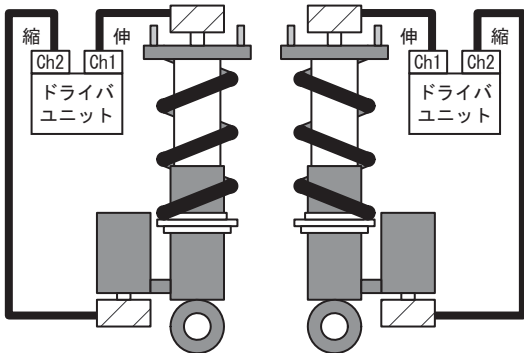


図2 ※1概念図 (倒立式ショックアブソーバ)

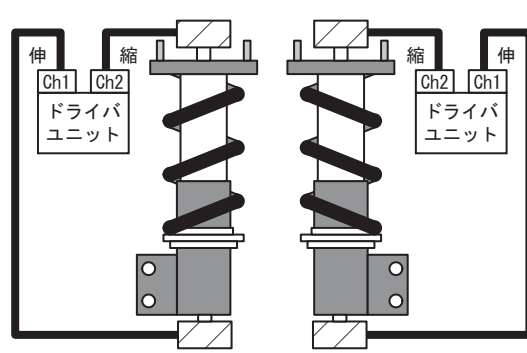


図3 ※2概念図 (正立式ショックアブソーバ)

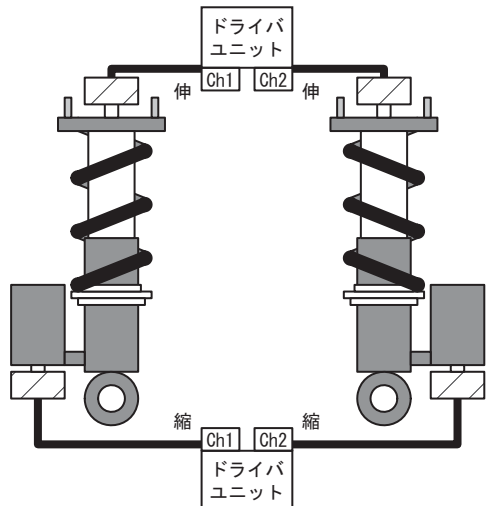
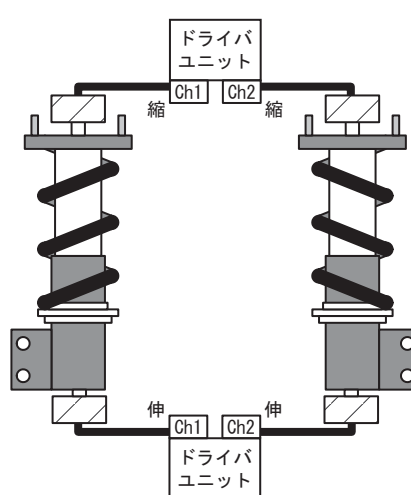


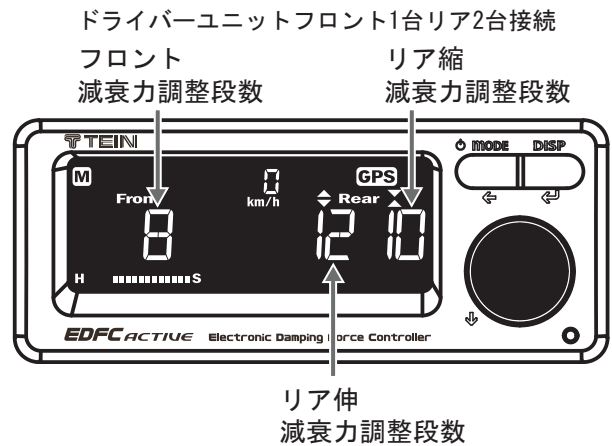
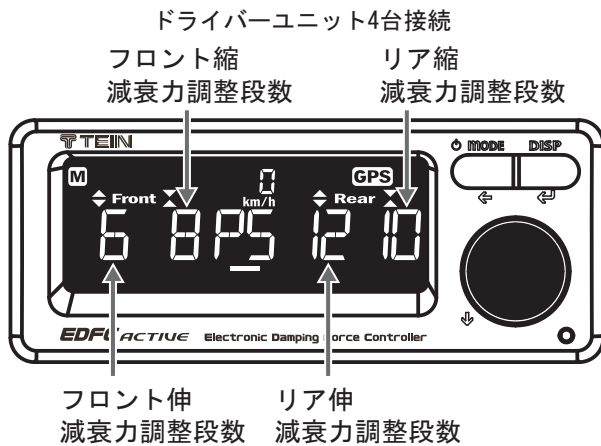
図4 ※2概念図 (倒立式ショックアブソーバ)



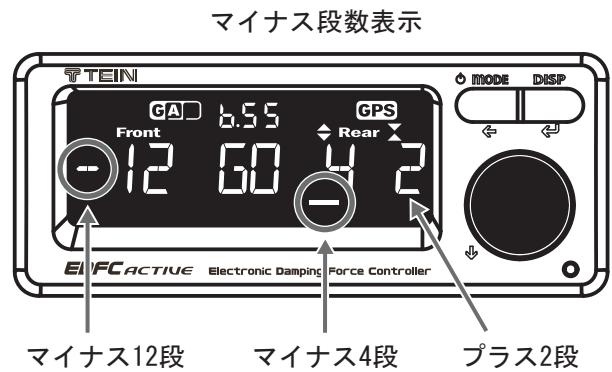
## 伸縮別調整ショックアブソーバに使用する場合

3台、もしくは4台のドライバユニットを制御する場合、コントローラ画面は次のように表示されます。基本のセットアップ方法については、「CUSTOMセットアップ」説明をご参照下さい。(取扱説明書 P.15~)

### ・画面表示内容説明



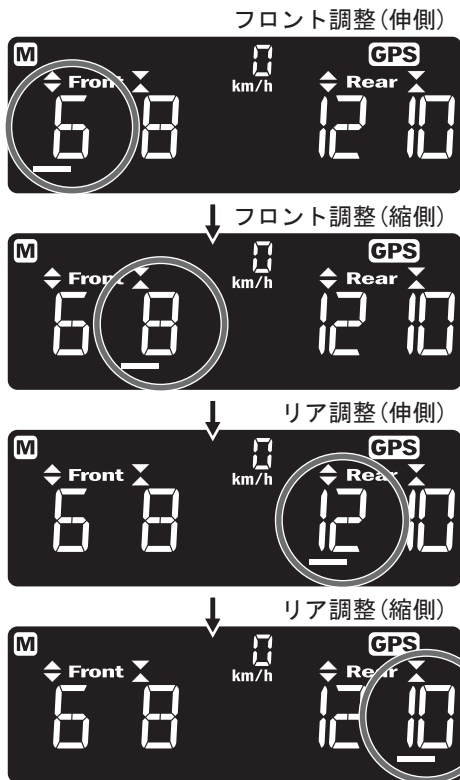
- ・接続したドライバーユニットの数だけ段数表示箇所が増えます。
- ・フロントもしくはリアのみでドライバーユニットを2台接続した場合、接続した側はGバーグラフをOFFにしても、減衰力調整段数バーグラフは表示されません。(Gバーグラフ変更については、P28『表示・操作設定変更』①②参照)。
- ・フロントもしくはリアのみでドライバーユニットを2台接続した場合、マイナス記号は各数値の直下に移動します。



### ・減衰力調整段数変更手順

#### 基本操作

「ダイヤル」短押しで操作先を変更



「ダイヤル」短押しでフロント伸 → フロント縮 → リア伸 → リア縮 → メモリ の順に操作先が変更されます。マニュアルモードでの減衰力調整段数変更(P19参照)の他、G反応点の設定値修正(P23参照)や、速度反応点の設定値修正(P25参照)においても同様です。



## 伸縮別調整ショックアブソーバに使用する場合

### ・G反応点 設定値変更方法


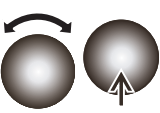

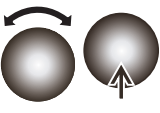

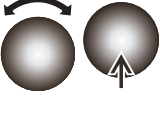

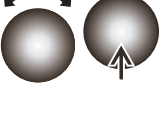

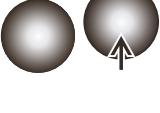

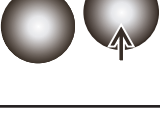



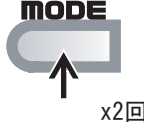
取扱説明書 P. 23の変更方法と変わりませんが、ドライバユニットが増えた分の段数変更箇所が増えます(下図の例では段数変更箇所が手順6~9の4箇所を増えています)。手順1~3はP. 23をご覧ください。

	設定項目	表示画面	操作内容	操作説明	選択項目
4	変更箇所選択			「ダイヤル」 回転 +短押し	G0 … G9
5	反応G設定			「ダイヤル」 回転 +短押し	b2.0 ~ a2.0
6	ドライバ1 変化段数設定			「ダイヤル」 回転 +短押し	+64/32/16 ~ -64/32/16
7	ドライバ2 変化段数設定			「ダイヤル」 回転 +短押し	+64/32/16 ~ -64/32/16
8	ドライバ3 変化段数設定			「ダイヤル」 回転 +短押し	+64/32/16 ~ -64/32/16
9	ドライバ4 変化段数設定			「ダイヤル」 回転 +短押し	+64/32/16 ~ -64/32/16
10				「ダイヤル」 長押し	
11				4~10を 繰り返す	
12	操作画面に戻る			「MODE」 短押し 2回	

## 伸縮別調整ショックアブソーバに使用する場合

・速度反応点 設定値変更方法

取扱説明書 P. 25の変更方法と変わりませんが、ドライバユニットが増えた分の段数変更箇所が増えます(下図の例では段数変更箇所が手順6~9の4箇所に増えています)。手順1~3はP. 25をご覧ください。

No.	設定項目	表示画面	操作内容	操作説明	選択項目
4	変更箇所選択			「ダイヤル」 回転 +短押し	S0~S9
5	反応速度設定			「ダイヤル」 回転 +短押し	0~300
6	ドライバ1 変化段数設定			「ダイヤル」 回転 +短押し	0~16 0~32 0~64
7	ドライバ2 変化段数設定			「ダイヤル」 回転 +短押し	0~16 0~32 0~64
8	ドライバ3 変化段数設定			「ダイヤル」 回転 +短押し	0~16 0~32 0~64
9	ドライバ4 変化段数設定			「ダイヤル」 回転 +短押し	0~16 0~32 0~64
10				「ダイヤル」 長押し	
11				4~10を 繰り返す	
12	操作画面に戻る			「MODE」 短押し 2回	